

CLOSE UP!



ハイブリッドレジンを使用した CAD/CAM 冠の保険適用について

今回は、より範囲を広げ患者さんに白い歯を提供することが可能となった治療法について紹介します。

●ハイブリッドレジンを使用したCAD/CAM冠について

皆さんはハイブリッドレジンを知っていますか。ハイブリッドレジンは詰め物の際によく使われているレジン(プラスチック)に、セラミックの粉末を混ぜた素材です。レジンとセラミックの両者を組み合わせることで、レジンの変色しやすく磨り減りやすい欠点と、セラミックの硬すぎて他の歯を傷めてしまう欠点をうまくカバーし、適度な強度と粘り強さを併せ持つすぐれものなのです。

またCAD/CAM冠とは、ブロック状のハイブリッドレジンを専用の機械(写真)で歯の形に削り出したものです。歯の形をスキャンしたデータをコンピュータに入力し、コンピュータの中で歯を設計するので均一で高品質な補綴物ができ上がります。

ハイブリッドレジンを使用したCAD/CAM冠は、先進医療として治療されてきましたが、有効性が確認され、全国で平成26年4月より小臼歯部(前から4・5番目)に保険適用となったことをきっかけに、本院でも治療を開始しました。従来までは、小臼歯のかぶせ物は保険適用の銀歯が多く、金属を使用しているので金属色が目立っていました。また、金属アレルギーの人には使えないなどの欠点がありましたが、今回のCAD/CAM冠の保険適用より、それらの欠点が解消され、多くの患者さんに安く高品質な白い歯を提供することが可能になったのです。

利 点

- 白い色
- 天然の歯が削れにくい
- 噛んだときのあごへの負担が少ない
- 金属アレルギーを起こさない
- 保険適用なので安価

欠 点

- 年数が経つと変色する
- 歯よりは強度が低い
- 4・5番目の歯のみ適用

■説明は、
徳島大学病院
かみあわせ補綴科
松香 芳三(まつか よしろう) 科長(左)
歯科技工室
清水 裕次(しみず ゆうじ) 歯科医療技術部門長(右)
問い合わせ Tel.088-633-7371(歯科外来)



●歯科医師と歯科技工士の連携を深めて

保険適用となり、利用する患者さんは少しずつ増えてきていますが、本院は歯科医師と歯科技工士の連携をより深く、CAD/CAM冠が新しい材料として幅広く利用され、有効な医療技術として発展していくことを期待しています。また、この治療用はすべての症例に適用できるとは限りませんので、詳細は担当医にご相談ください。

▶CAD/CAM冠を作成する機械

